

地震一口メモ No. 163

2018年6月18日 大阪府北部の地震について⑥

2018年6月18日に大阪府北部で発生した最大震度6弱の地震では、死者6人、負傷者443人、住家全壊18棟、住家半壊517棟などの被害が発生しました（2018年11月6日10時00分現在、総務省消防庁による）。この地震は「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」や「平成28年（2016年）熊本地震」と同じく、陸域の浅い場所で発生した地震でした。

2018年末までのこの地震に伴う一連の地震活動について解説します。

下表のとおり、2018年12月31日までにこの地震の震源周辺（図1の領域a内）で震度1以上を観測した地震の回数は70回でした。

表 最大震度別地震回数表（図1の領域a内） 2018年6月18日～2018年12月31日

期間	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
6月18日～6月30日	25	11	4	1			1			42
7月1日～7月31日	9	3	1							13
8月1日～8月31日	2		1							3
9月1日～9月30日		1								1
10月1日～10月31日	5									5
11月1日～11月30日	2									2
12月1日～12月31日	3	1								4
合計	46	16	6	1	0	0	1	0	0	70

図2をみると、体に感じないような小さな地震活動についても減衰傾向にありますが、この地震が発生する前（⇔の期間）と比較すると依然活発な状況が続いていることがわかります。今後も現状程度の地震活動は当分続くと考えられます。また、今回発生した地震の周辺には、有馬-高槻断層帯、上町断層帯、生駒断層帯など複数の活断層があることにも留意が必要です。

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありません。引き続き、日頃からの地震への備えを心がけてください。

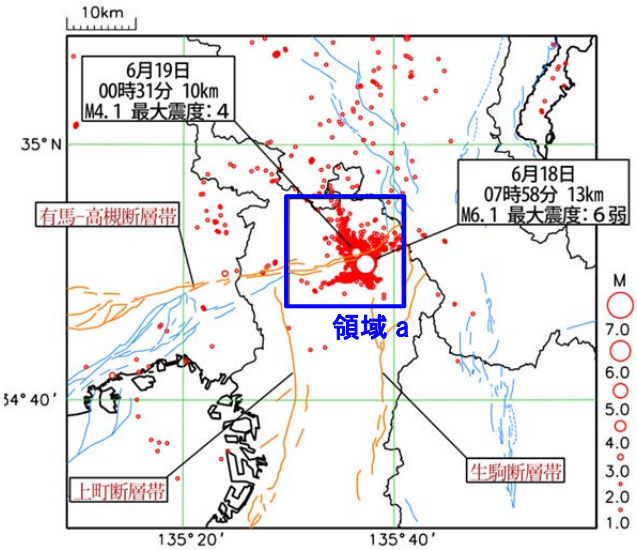


図1 震央分布図

2018年6月1日～2018年12月31日
 深さ0～20km、マグニチュード（M）1.0以上
 ※橙色、水色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

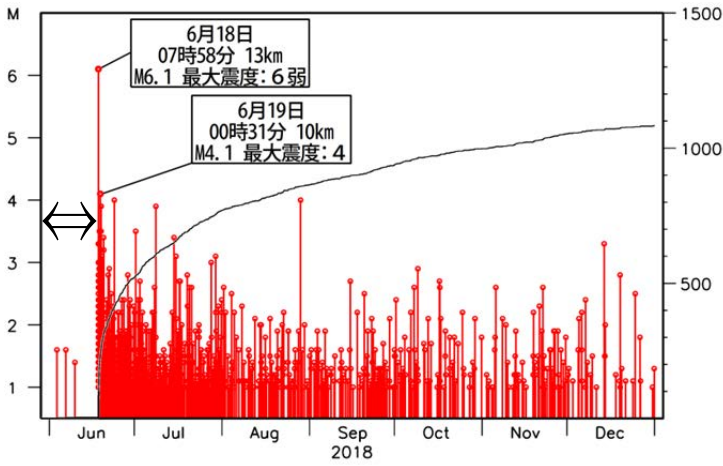


図2 図1の領域a内の地震活動経過及び回数積算図